

あまちく かわらこうじょう
阿万地区の瓦工場

所在地：南あわじ市 阿万



阿万地区の瓦工場

淡路瓦は、淡路島が誇る伝統産業の1つで、三河、石州とともに三大瓦産地となっています。

瓦の生産は、国分寺跡（旧三原町）の発掘調査から、奈良時代に始まったと推測されています。産業としては、江戸時代に発展し、特に明治初期から一般民家への需要が急増しました。淡路瓦は、「いぶし瓦」が主流でしたが、昭和38年頃からは「陶器瓦」の生産が盛んになりました。

旧西淡町をはじめ、現在も島内各所に瓦工場があり、阿万地区もその1つです。地区内に瓦工場が点在する町並みからは、伝統産業「淡路瓦」を生業としてきた景観を感じることができます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから県道31号線、
県道76号線を南下。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図